

本宿駅周辺地域拠点整備業務		総合政策部地域創生課 政策推進係(23 - 7214)
新規	本宿駅周辺地域拠点関連道路整備業務(予算額 68,489千円)	
財源内訳	一般財源 68,489千円	
支出内訳	本宿駅周辺地域拠点関連道路整備業務:8款3項3目 道路新設改良費 / 測量設計委託料 27,500千円、道路整備設計費負担金 7,000千円 本宿駅周辺地域拠点整備業務:8款5項1目 都市計画総務費 / まちづくり事業調査委託料 22,489千円、下水道工事負担金 11,500千円	

【事業概要】

地域拠点として整備する本宿駅周辺において、さらなる都市機能の集積を図りコンパクトなまちづくりを進めるとともに、観光産業都市の創出につながる広域的な観光まちづくりを進めます。また、これらのまちづくりに伴い、必要となる道路整備の検討を行います。

○主な予算の内容

- 地元まちづくり組織等支援
- 市街化編入に必要な協議調書の策定
- 下水道整備設計負担金
- 周辺道路整備検討



東岡崎駅周辺地区整備推進業務(予算額 64,293千円)

都市整備部拠点整備課
総務企画係(23 - 6452)

財源内訳	国庫支出金 4,000千円、一般財源 60,293千円
支出内訳	8款5項5目 拠点整備費 / 委員報酬 57千円、費用弁償 63千円、特別旅費 200千円、周辺整備調査設計委託料 29,312千円、整備推進支援委託料 26,024千円、周辺整備工事請負費 8,478千円、職員研修負担金 159千円

■ 本市の玄関口である東岡崎駅周辺地区が「誰もが使いやすい にぎわいの交流拠点」となるよう整備します。

令和元年度末で駅北口東側地区のペDESTリアンデッキ、東岡崎駅前広場、明大寺交通広場の整備工事及び北東街区有効活用事業（オトリバーサイドテラス）の整備が完了したため、引き続き駅舎西側部分の2期計画事業（西改札口の橋上化、南北自由通路、駅ビル、バスターミナル等の一体整備）についても着手できるよう、必要な調査や協議を実施します。



岡崎駅周辺整備業務(予算額 208,031千円)

都市整備部市街地整備課
総務清算係(23 - 6265)

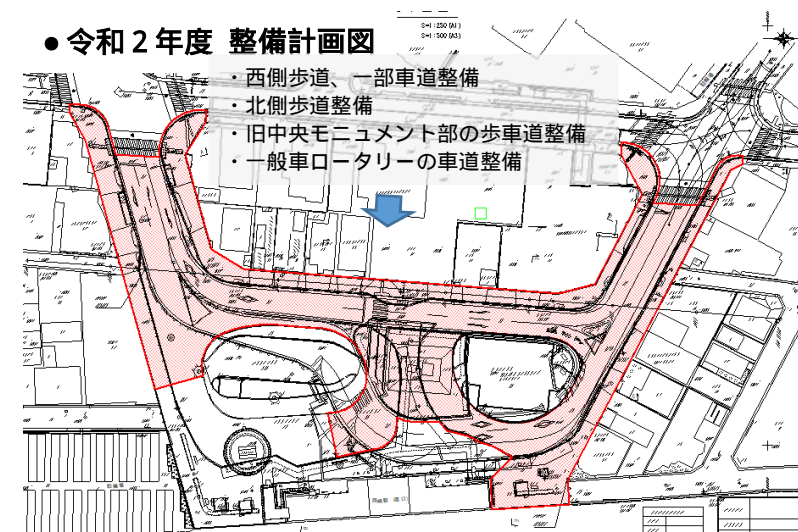
財源内訳	市債 122,000千円、一般財源 86,031千円
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費 / 特別旅費 21千円、実施設計委託料 10,010千円、岡崎駅周辺整備工事請負費 198,000千円

【事業目的】

岡崎駅周辺地区の道路、広場等整備や規制誘導等の整備改善を図り、市民が安全・安心・快適に生活できる魅力と活力あるまちづくりを行います。



●令和2年度 整備計画図

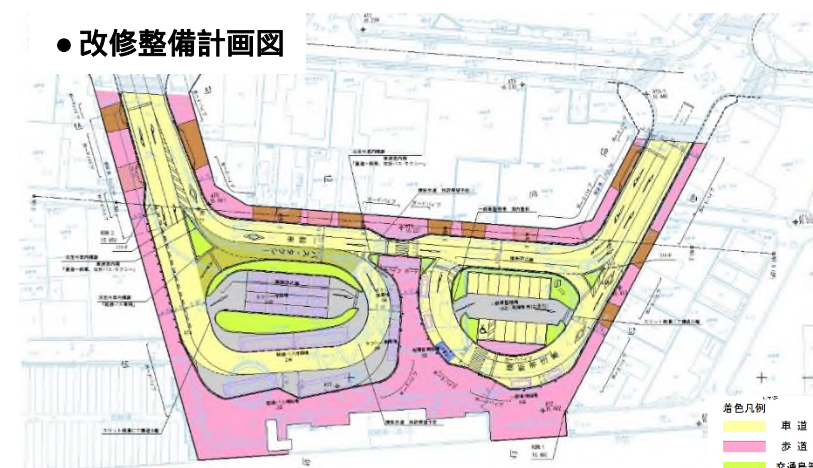


【岡崎駅西口駅前広場の改修整備内容】

(改修予定期間は3年)

- ・中央モニュメントは撤去
- ・広場南側の蒸気機関車のモニュメントは規模を縮小し移設
- ・南半分のロータリーは、公共交通用
バス乗降場2箇所
タクシー乗降場1箇所
中央にバスとタクシー専用の待機スペース
南側に大型バス等の乗降スペース
- ・北半分のロータリーは、一般車専用
一般車専用の乗降スペース
中央に短時間利用の駐車場

●改修整備計画図



岡崎駅南土地区画整理事業費補助業務(予算額 116,000千円)		都市整備部市街地整備課 総務清算係(23 - 6265)
財源内訳	国庫支出金 31,850千円、市債 28,000千円、一般財源 56,150千円	
支出内訳	8款7項2目 土地区画整理組合指導費 / 土地区画整理組合事業費補助金 98,000千円、土地区画整理組合事務費補助金 5,000千円、 組合区画整理費補助事業費負担金 13,000千円	



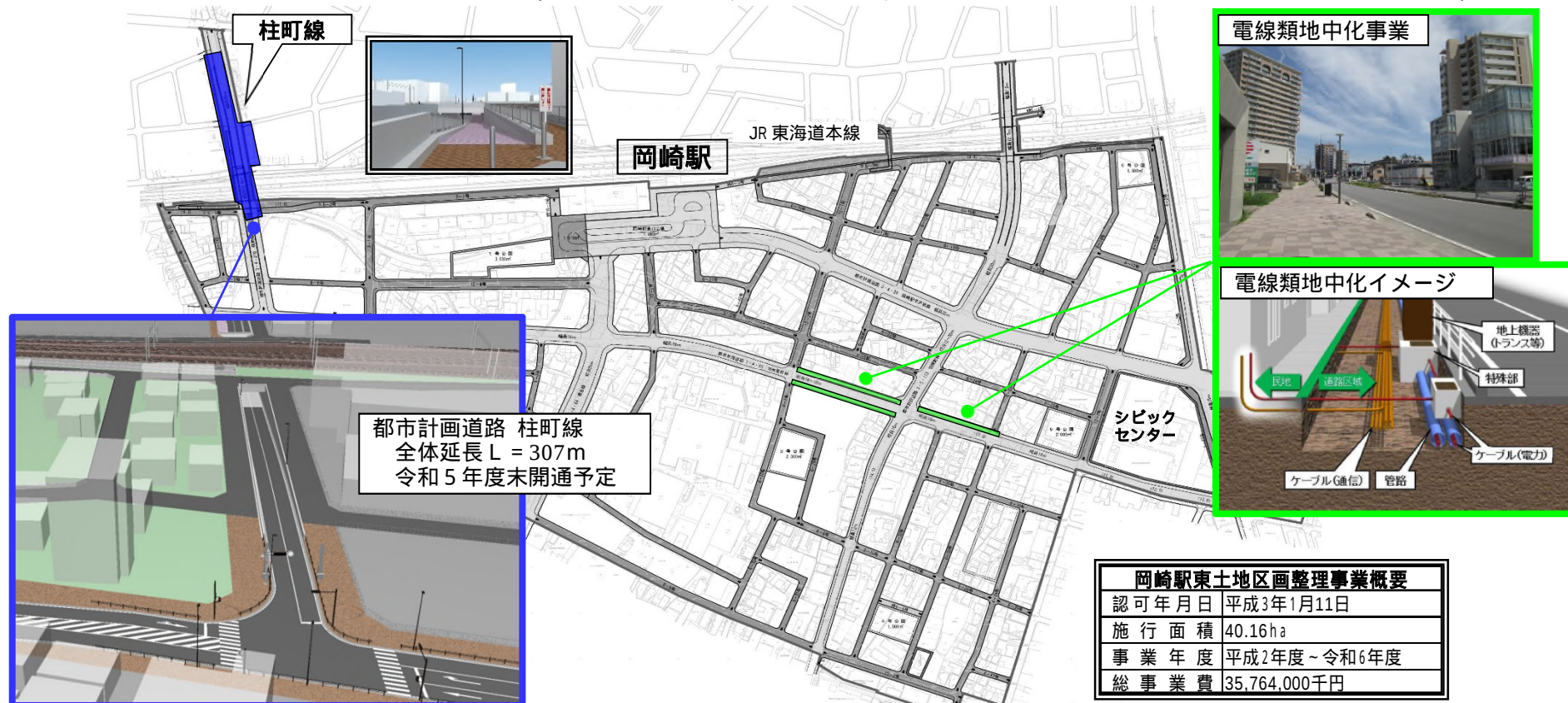
岡崎駅東地区整備業務(予算額 221,613千円)

都市整備部市街地整備課
総務清算係(23 - 6265)

(令和元年度3月補正に前倒した予算額 769,163千円)(合計予算額 990,776千円)

財源内訳	国庫支出金 17,032千円、県支出金 2,800千円、諸収入 170千円、市債 10,000千円、一般財源 191,611千円
支出内訳	8款7項3目 岡崎駅東地区都市改造事業費 / 架線保全手数料 909千円、換地委託料 3,949千円、区画整理測量委託料 2,992千円、工事実施設計等委託料 15,640千円、電線共同溝設備工事委託料 14,300千円、土地賃借料 4,211千円、道路築造等工事請負費 131,890千円、道路等維持工事請負費 7,366千円、信号機移設工事請負費 3,520千円、建物等移転補償金 5,500千円、電柱移設補償金 2,936千円、水道管移設補償金 4,600千円、ガスパ管移設補償金 13,200千円、下水道管移設補償金 10,600千円

- 岡崎駅東地区を岡崎市南部の拠点として、都市基盤・商業環境の整備、交通体系の確立、居住環境の改善を図り、個性的で魅力あふれる街づくりを進めています。令和2年度は、電線類地中化工事及び幹線道路の整備などを行います。



岡崎駅針崎若松地区整備業務(予算額 36,984千円)

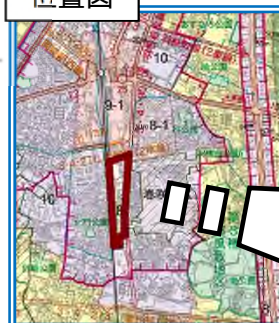
都市整備部市街地整備課
総務清算係(23 - 6265)

財源内訳	国庫支出金 6,875千円、市債 5,000千円、一般財源 25,109千円
支出内訳	8款7項4目 岡崎駅針崎若松地区都市改造事業費 / 特別旅費 188千円、区画整理事業設計委託料 3,190千円、補償物件積算委託料 1,606千円、土地購入費 27,000千円、建物等移転補償金 5,000千円

仮換地指定に向けた公共用地の確保を進めます。

- 岡崎駅周辺地区として県道岡崎幸田線の拡幅などの公共施設の整備改善と、老朽密集市街地の解消による宅地の利用増進を図り、市民が良好な環境で生活できるまちづくりを進めます。

位置図



計画図

拡大



凡 例	
施行地区界	
都市計画道路	
区画道路	
特殊道路	
鉄道軌道	
公園	
官公署	
神社	

事業計画の概要

- 【施行地区】 針崎町字東カンジ、字宮前、字北門及び字山田の各一部
若松町字東荒子、字宮前及び字土取の各一部
柱町字鐘場及び字東荒子の各一部
- 【総事業費】 4,843,000千円
- 【事業期間】 平成29年度から令和13年度
- 【事業面積】 約 5 ha
- 【事業内容】 都市計画道路 469m (県道岡崎幸田線)
区画道路 1,572m
公園 1箇所
移転戸数 約105戸

良好な都市環境整備を進めます



景観環境まちづくり推進業務(予算額 58,412千円)

都市整備部まちづくりデザイン課
景観推進係(23 - 6261)

財源内訳	国庫支出金 20,074千円、財産収入 3千円、一般財源 38,335千円
支出内訳	8款5項2目 都市景観環境費 / 委員報酬 594千円、事業協力者報償金 39千円、費用弁償 163千円、食糧費 6千円、 無電柱化整備設計委託料 15,125千円、景観形成重点地区指定促進委託料 8,602千円、サイン・案内板整備設計委託料 4,345千円、 景観学習教室等開催委託料 1,212千円、サイン・案内板整備工事請負費 20,519千円、景観形成補助金 3,000千円、 まちなみ修景補助金 2,300千円、おかざき景観賞実行委員会負担金 1,007千円、電柱等移転補償金 1,500千円

良好な景観形成による地域の活性化、生活環境の向上及び観光の振興に向けて、本市固有の良好な景観の保全や整備を図るためのまちづくりを景観計画に基づき総合的かつ一体的に推進します。

● 無電柱化整備設計委託料

新規

八帖地区景観形成重点地区の良好な景観形成を図るため、電線類の地中化を推進します。



八帖地区景観形成重点地区区域図



現在の市道中岡崎8号線



無電柱化整備イメージ

■ 整備路線

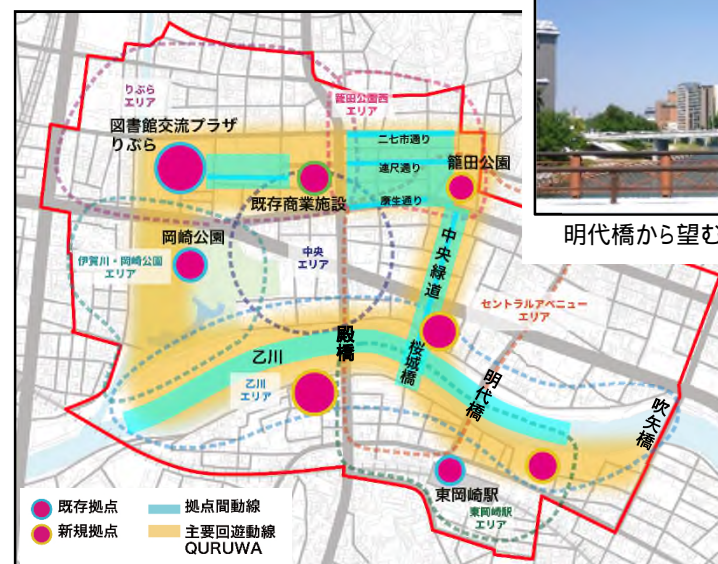
市道中岡崎8号線 延長約 195m
市道八帖大通2号線 延長約 165m

■ スケジュール

令和2年度 測量設計
令和3年度 一期工事
令和4年度 二期工事

● 景観形成重点地区指定促進委託料

乙川リバーフロント地区の良好な景観形成を図るため、乙川沿いや中央緑道沿いなどの建築物等の色彩など形態意匠の規制誘導を推進します。



明代橋から望む乙川と市街地の景観

鉄道駅バリアフリー化推進業務(予算額 123,170千円)		総合政策部地域創生課 技術係(23 - 6565)
財源内訳	市債 50,000千円、一般財源 73,170千円	
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費 / 西岡崎駅駅前広場改修工事請負費 60,170千円、北岡崎駅バリアフリー化整備事業費補助金 63,000千円	

1日の平均利用者数が3,000人以上ある鉄道駅について、高齢者や障がい者、ベビーカー利用者等が安全・安心に移動できるよう、交通事業者と一体となって、エレベーター設置等のバリアフリー化整備を進めます。

令和2年度予算内容

【西岡崎駅】

北口駅前広場改修工事

- ・歩道のバリアフリー化
- ・バス、タクシー・自家用車への乗換しやすい機能配置改修

【北岡崎駅】

エレベーター等設置工事補助(1/3)

- ・エレベーターの設置：2基
- ・多機能トイレ：1基



西岡崎駅
北口駅前広場



北岡崎駅
鉄道駅バリアフリー化整備

交通政策推進業務(予算額 21,415千円)

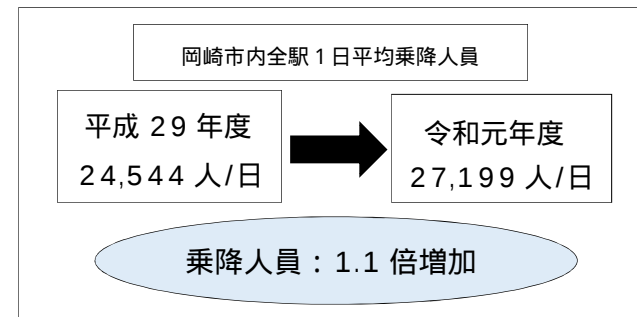
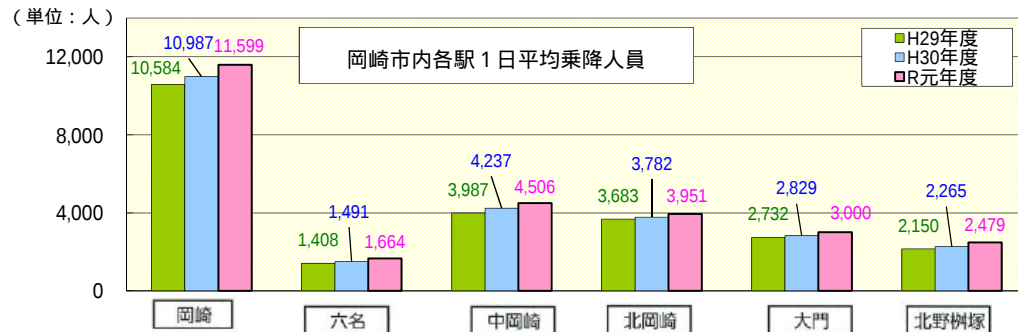
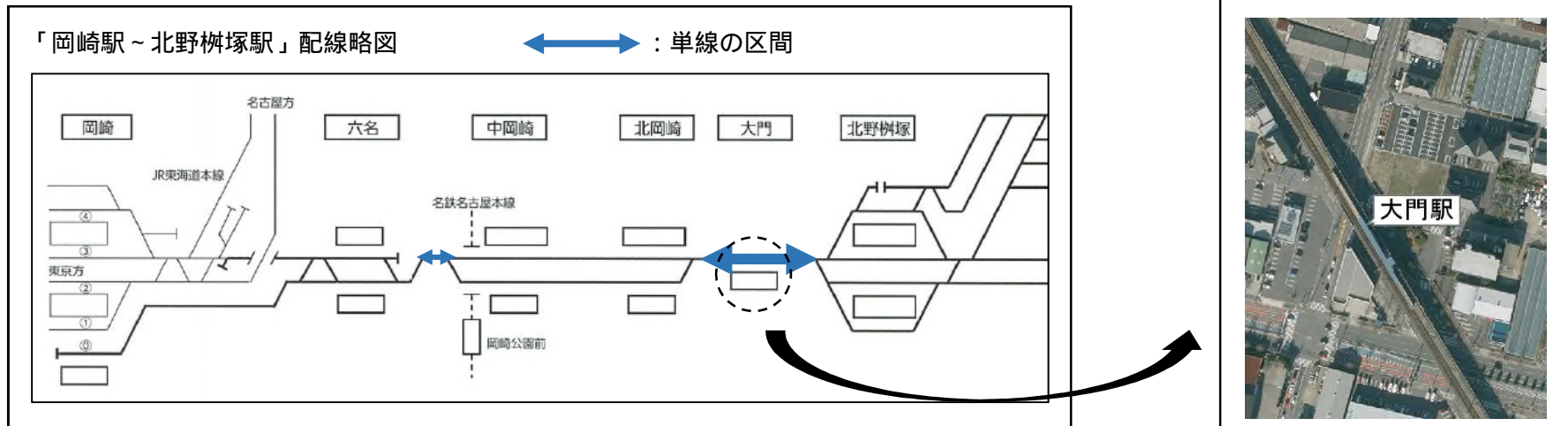
総合政策部地域創生課
公共交通係(23 - 6486)

財源内訳	一般財源 21,415千円
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費 / 委員報酬 320千円、費用弁償 26千円、消耗品費 52千円、食糧費 15千円、総合交通政策策定支援委託料 9,988千円、鉄道対策検討委託料 5,797千円、愛知環状鉄道連絡協議会負担金 215千円、リニア中央エクスプレス愛知県期成同盟会負担金 6千円、岡崎市交通政策会議負担金 1,966千円、ユニバーサルデザインタクシー導入促進費補助金 3,000千円、三河地域新幹線駅利用促進期成同盟会負担金 30千円

新規

鉄道対策検討委託料

愛知環状鉄道線の利便性を高めるため、将来の複線化への対応に向けた課題整理等を行います。



バス路線対策業務〔予算額 396,320千円〕

総合政策部地域創生課
公共交通係(23-6486)

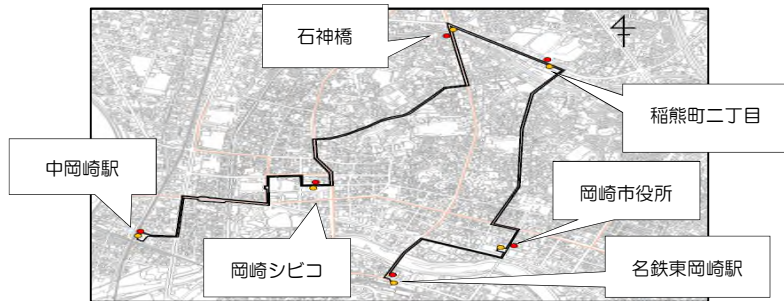
財源内訳	県支出金 3,122千円、一般財源 393,198千円
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費／バス路線運行委託料 29,470 千円、バス運行対策費補助金 353,157千円、移動手段確保対策費負担金 13,693千円

地域生活交通の確保維持のため、国・県及び隣接市と協調し不採算バス路線への補助金交付のほか、中山間地域でのコミュニティ交通等の運行委託によりバス路線の確保・維持を図ります。また、高齢者や免許自主返納した方への移動手段に対する支援、外出促進による健康の維持などを目的に、移動手段の確保に向けた新たな取り組みを行います。

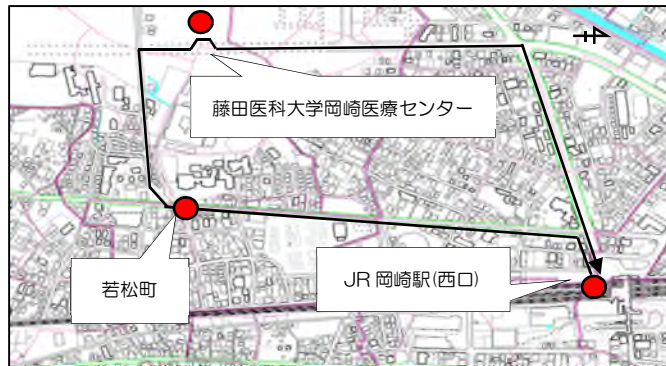
扩充

バス運行対策費補助金

岡崎北線（旧まちバス南北ルート）（新規補助）



岡崎医療センター線（新規補助）



新規

移動手段確保対策費負担金

高齢者パス負担金

バス事業者が65歳以上の方に発行している高齢者パスの購入費の一部を負担することで、高齢者や免許自主返納した方への移動手段に対する支援、外出促進による健康の維持を図ります。

交通系ICカードについて

交通系 IC カードは何度でもチャージ(入金)できて、バス・電車に乗るとき降りるときに手間がかかりません。
また、manaca では「乗継割引」「高齢者パス」のサービスが受けられます。



鉄道・バスで使う「乗継割引」

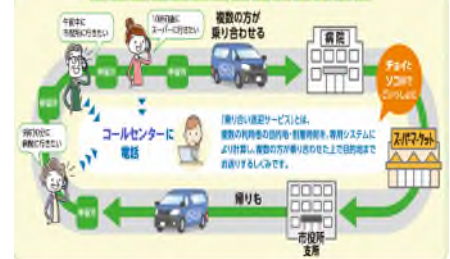
1枚のmanacaで、名鉄バスから名鉄バス、名鉄電車へ90分以内に乗り換えを行うと運賃が割引になります。

●乗継割引額		名鉄バス	名鉄電車
	名鉄バス	40円	80円

移動手段負担金

地域が主体となり、移動手段に関する協議が行われている六ツ美中部学区において、高齢者をはじめとする、通院・買物などの生活交通としての移動手段の確保、通勤・通学の移動手段の確保を図るため、デマンド型交通の実証運行を実施します。

乗り合い送迎サービスのしくみ

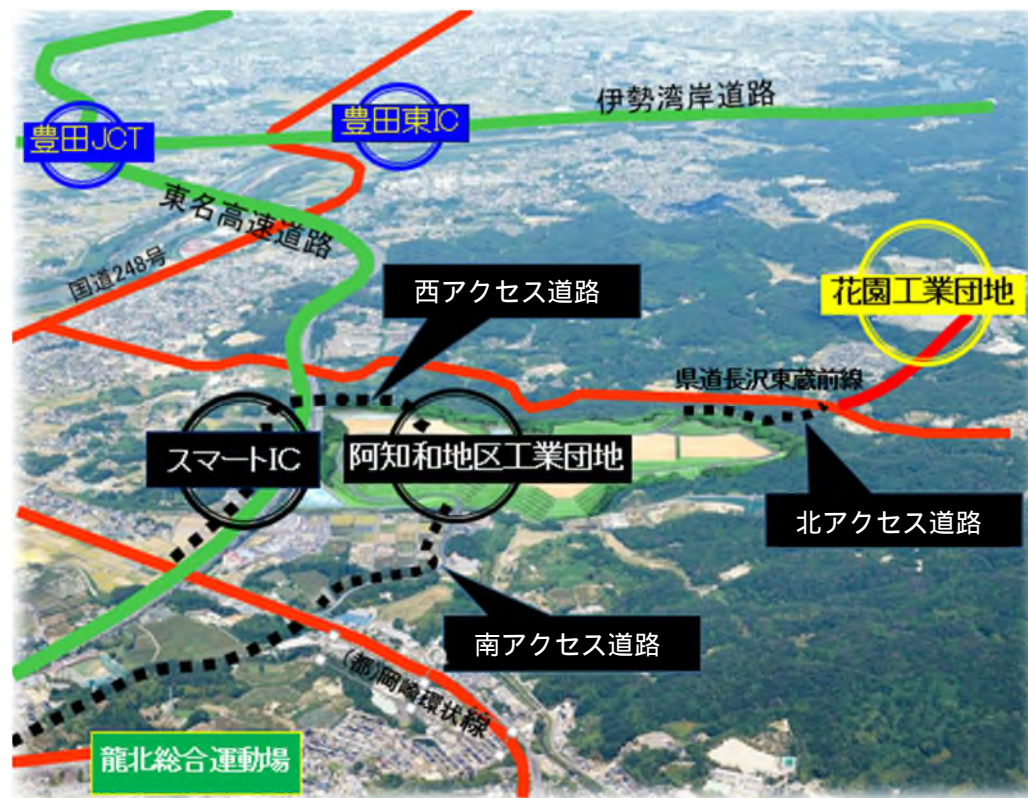
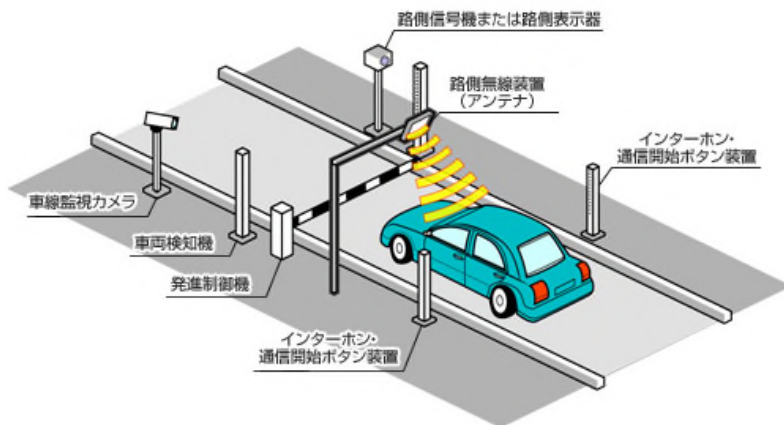


スマートインターチェンジ整備業務(予算額 276,658千円)		総合政策部地域創生課 技術係(23 - 6565)
財源内訳	国庫支出金 76,000千円、市債 68,000千円、一般財源 132,658千円	
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費 / 特別旅費 126千円、食糧費 52千円、測量設計委託料 51,480千円、土地購入費 193,000千円、立木等補償金 32,000千円	

令和元年9月に国からスマートICの連結許可を受けた(仮称)岡崎阿知和スマートインターチェンジによる高速道路へのアクセス向上、物流の効率化による生産性の向上に向けて、阿知和地区工業団地の計画と合わせ設計・調査を行います。

令和2年度予算内容

- ・道路詳細設計(西アクセス道路)
- ・交通量調査
- ・用地買収(土地購入、立木補償)

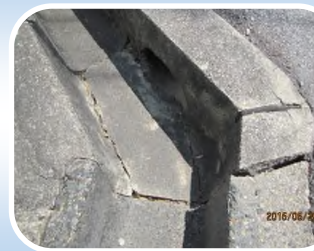


道路整備業務・道路ストック点検修繕業務(予算額 1,546,061千円) 〔令和元年度3月補正に前倒した予算額 60,000千円〕(合計予算額 1,606,061千円)		土木建設部道路維持課 総務係(23 - 6223)
財源内訳	国庫支出金 69,271千円、県支出金 15,750千円、市債 230,000千円、一般財源 1,231,040千円	
支出内訳	8款3項2目 道路維持費 / 道路整備業務:道路測量設計委託料 46,131千円、土質調査委託料 2,245千円、無電柱化計画検討委託料 10,186千円、 道路整備工事請負費 1,227,709千円 道路ストック点検修繕業務:測量設計委託料 23,271千円、調査点検委託料 22,789千円、道路ストック修繕工事請負費 213,730千円	

岡崎市が管理する約2,130kmの市道について、老朽化等に伴う整備必要路線の整備工事を行い、安全・安心な通行及び利便性を図ります。

● 老朽化した道路の整備

各町内会からの要望書を基に、舗装及び側溝等の現地調査を行い、他の要望との優先順位を精査し、順次整備を図っています。



生活環境・利便性の向上

● 歩道のバリアフリー化

地域の生活を支える生活道として重要な道路の歩道と車道との段差を減らすことにより、歩行者等の安全な通行と利便性を図ります。



快適な歩行空間の確保

● 道路ストック(道路構造物)の点検修繕

トンネル、道路舗装、大型道路標識、横断歩道橋、道路法面工・土工構造物等について、国の基準による点検を進め、結果に応じて必要な補修等を行い、経年劣化等から生じる危険な不具合を未然に防ぎます。



道路事故を未然に防ぐ

街路・道路新設改良事業 (予算額 615,611千円) 矢作川右岸南北道路整備業務始め13業務合算 (令和元年度3月補正に前倒した予算額 347,546千円) (合計予算額 963,157千円)		土木建設部道路建設課 総務係 (23-6442)
財源内訳	国庫支出金 87,675千円、市債 225,000千円、一般財源 302,936千円	
支出内訳	8款3項3目 道路新設改良費 / 特別旅費 80千円、土地鑑定手数料 4,031千円、架線保全手数料 220千円、測量設計委託料 43,410千円、 登記事務委託料 1,500千円、道路用地管理委託料 4,274千円、道路現況調査委託料 2,299千円、道路新設改良工事請負費 347,600千円、 道路新設関連工事請負費 8,563千円、土地購入費 38,389千円、電柱等移転補償金 5,800千円、事業損失補償金 400千円 8款5項3目 街路事業費 / 特別旅費 15千円、土地鑑定手数料 1,005千円、測量設計委託料 6,440千円、登記事務委託料 500千円、 道路用地等管理委託料 8,564千円、街路改良工事委託料 82,500千円、道路用地等維持修繕工事請負費 1,000千円、土地購入費 59,021千円	

都市計画道路、主要市道等の新設及び改良工事を行います。

事業予定箇所

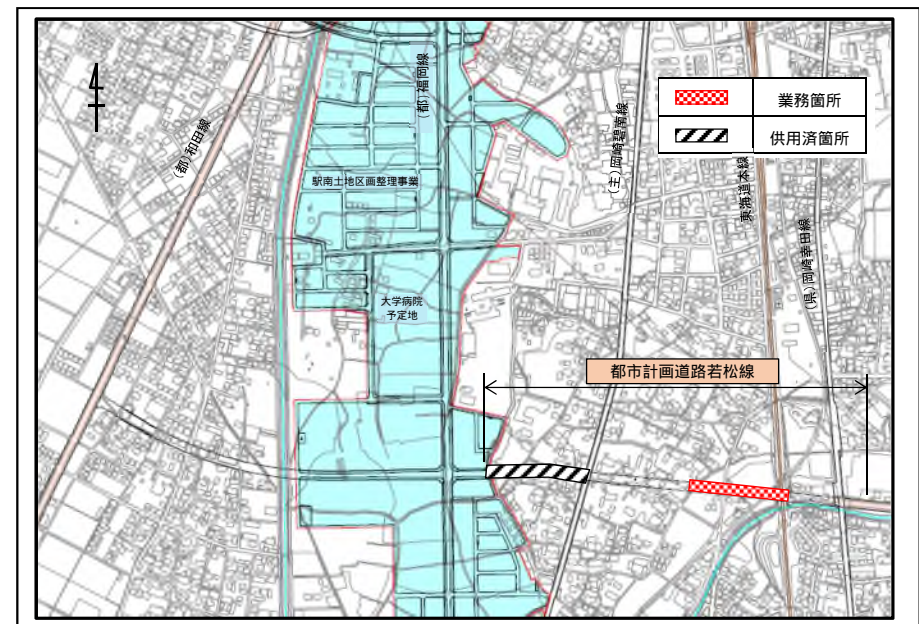
街路新設改良事業

・岡崎環状線	・若松線
--------	------

道路新設改良事業

・矢作川右岸南北道路	・大幡赤坂線
・仁木八反田5号線ほか2路線	・上平徳林線ほか2路線
・箱柳岩中線ほか1路線	・奥殿学校線ほか3路線
・針崎野畑線	・東奥洞七ツ池線
・大和新堀線	

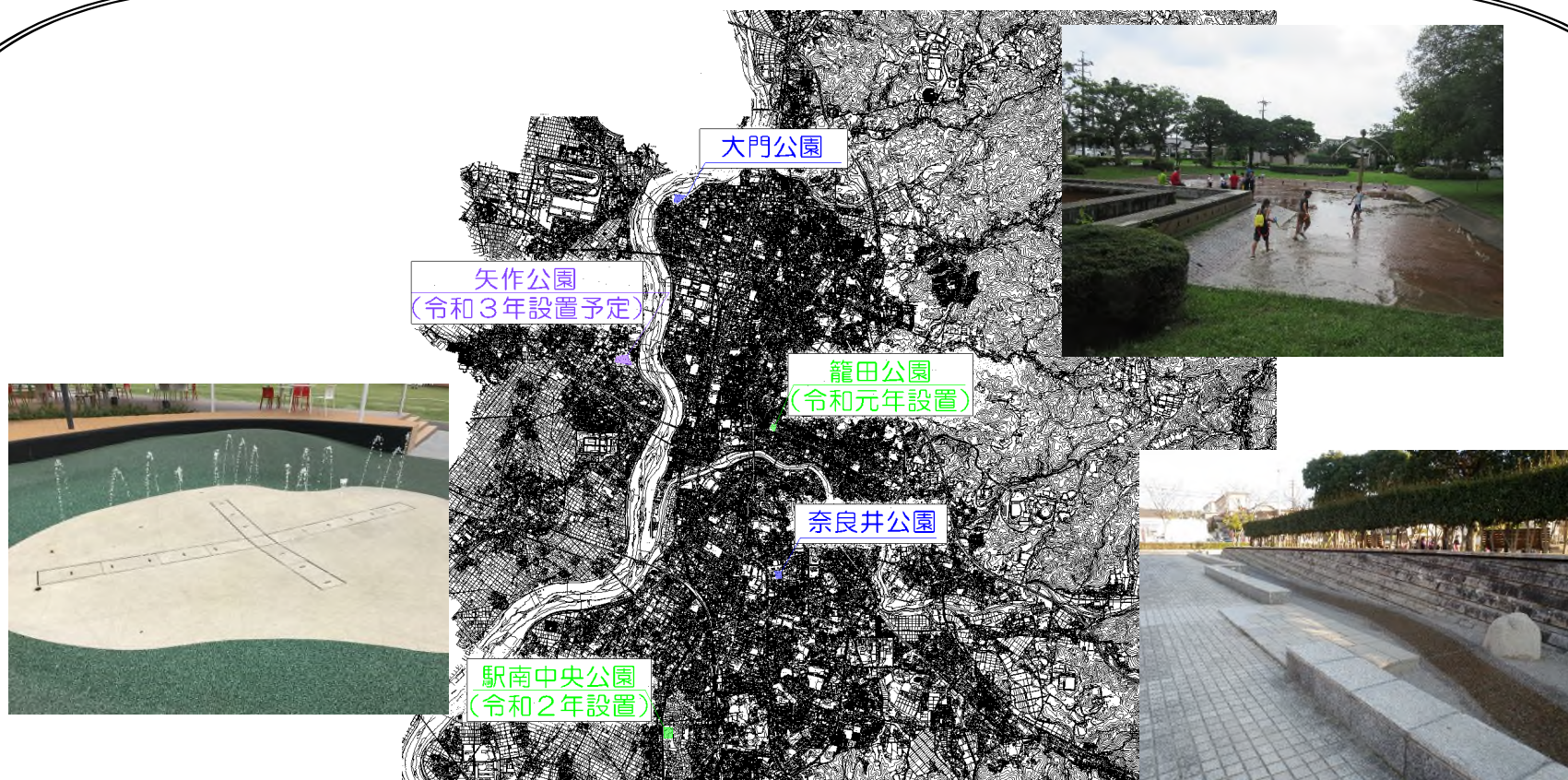
都市計画道路 若松線



新規 公園噴水等整備業務(予算額 12,100千円)

財源内訳 一般財源 12,100千円

支出内訳 8款6項2目 公園費 / 測量設計委託料 12,100千円



矢作公園において、市民の憩いの場・交流の場として、にぎわいのある親水空間の創出を目指すため、公園の噴水等の検討・実施設計を行います。

新規	中央緑道等整備業務 (予算額 88,938千円)	都市整備部公園緑地課 公園活用係(23 - 7406)
財源内訳	国庫支出金 34,000千円、繰入金 10,000千円、市債 30,000千円、一般財源 14,938千円	
支出内訳	8款6項2目 公園費 / 桜城橋橋りょう応力度照査委託料 3,938千円、施設購入費 85,000千円	

■ QURUWA 戦略の概要

乙川リバーフロント地区内の豊富な公共空間を活用して、パブリックマインドを持つ民間を引き込む公民連携プロジェクト(QURUWA プロジェクト)を実施することにより、その回遊を実現させ、波及効果として、まちの活性化(暮らしの質の向上・エリアの価値向上)を図る戦略

■ QURUWA プロジェクト

PPP 活用拠点形成事業(太陽の城跡地)
 PPP 活用拠点形成事業(東岡崎駅北東街区)
 乙川かわまちづくり事業
 PPP 活用拠点形成事業(桜城橋橋上広場・橋詰広場)
 PPP 活用拠点形成事業(籠田公園・中央緑道) 等

■ 中央緑道等整備業務の概要

QURUWA 戦略の拠点・拠点間動線である中央緑道等(桜城橋橋上広場と橋詰広場)において、都市公園法に基づく公募設置管理制度(Park-PFI)により、民間収益施設と公園施設を一体的に整備することで公園利用者の利便と魅力を向上させ、各公共空間拠点をつなぐ主要回遊動線 QURUWA の実現に寄与します。



QURUWA戦略推進業務(予算額 199,566千円)		都市整備部都市施設課 QURUWA戦略係(23 - 7421)
財源内訳	国庫支出金 25,000千円、一般財源 174,566千円	
支出内訳	8款5項1目 都市計画総務費 / 委員報酬 792千円、費用弁償 667千円、特別旅費 1,112千円、消耗品費 274千円、食糧費 19千円、印刷製本費 307千円、通信運搬費 1,320千円、かわまちづくり運営支援委託料 2,200千円、かわまちづくり企画支援委託料 5,236千円、まちづくりデザイン策定委託料 110,599千円、情報化基盤施設整備等委託料 55,000千円、機器等運用保守委託料 3,548千円、木船借上料 300千円、電柱共架料 24千円、職員研修負担金 100千円、かわまちづくり活用実行委員会負担金 5,110千円、民間まちづくり活動促進事業費補助金 12,750千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 208千円	

乙川リバーフロント地区内の豊富な公共空間を活用した公民連携プロジェクトを推進することにより、まちの回遊を実現させ、その波及効果として、市民の暮らしの質の向上とエリアの価値向上に取り組みます。乙川河川敷や籠田公園、桜城橋といった再整備が完了した公共空間を活かして、民間投資の促進誘導、シンポジウム等による啓発や、地区内の公共空間利活用の社会実験を実施します。

まちづくりデザイン



QURUWA シンポジウム
民間投資促進

公共空間活用社会実験

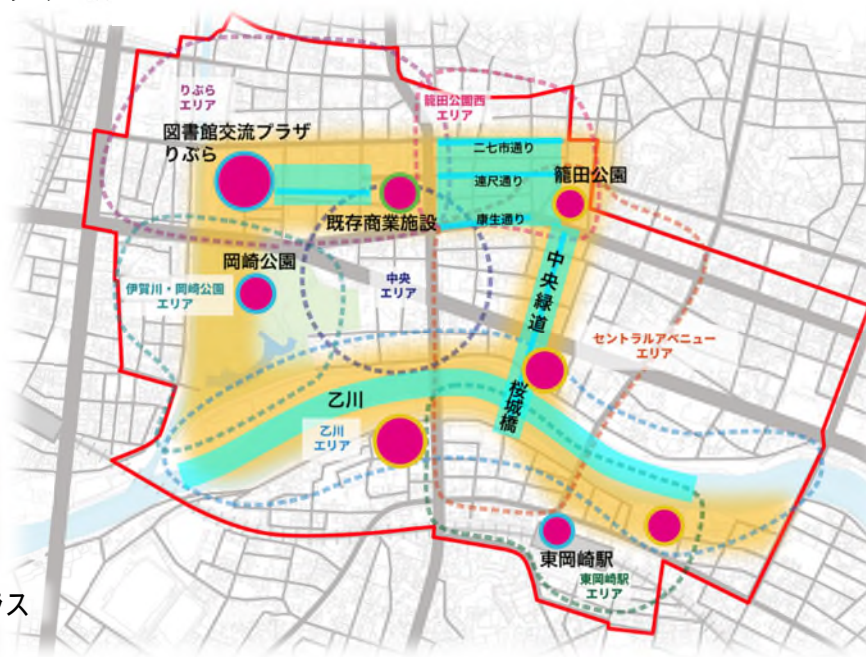
かわまちづくり



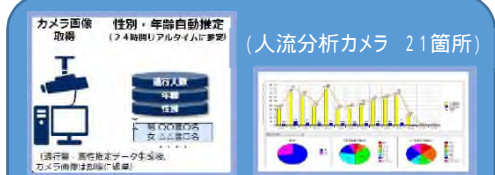
おとがワ！ンダーランド殿橋テラス



QURUWA 戦略 (拠点・拠点間動線)



情報化基盤施設整備解析業務



エリア内の主要道路に人流分析カメラを設置し、通行人の時間別人数、性別、年代を把握する。テキスト化したデータを民間事業者などへ提供し、民間投資を促す。

エリア内の公共駐車場及び民間駐車場の満空情報の配信を行う。



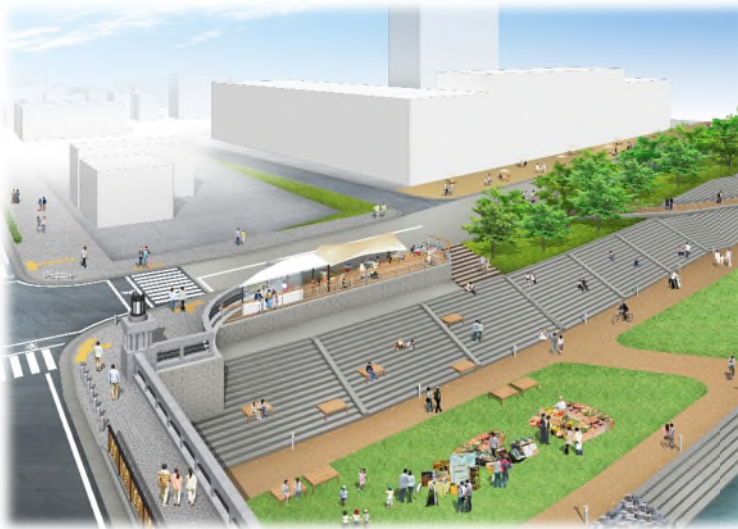
乙川リバーフロント地区整備推進業務(予算額 98,168千円)

都市整備部

乙川リバーフロント推進課企画調整係(23-6541)

財源内訳 国庫支出金 7,600千円、市債 6,000千円、一般財源 84,568千円

支出内訳 8款5項5目 拠点整備費 / 消耗品費 230千円、資材保管料 480千円、整備推進支援委託料 6,897千円、会場使用料 45千円、
乙川河川緑地施設整備工事請負費 50,094千円、中央緑道等整備工事請負費 40,000千円、水道分担金 392千円、
まちづくり情報交流協議会負担金 30千円



殿橋テラス



中央緑道・市道籠田町線

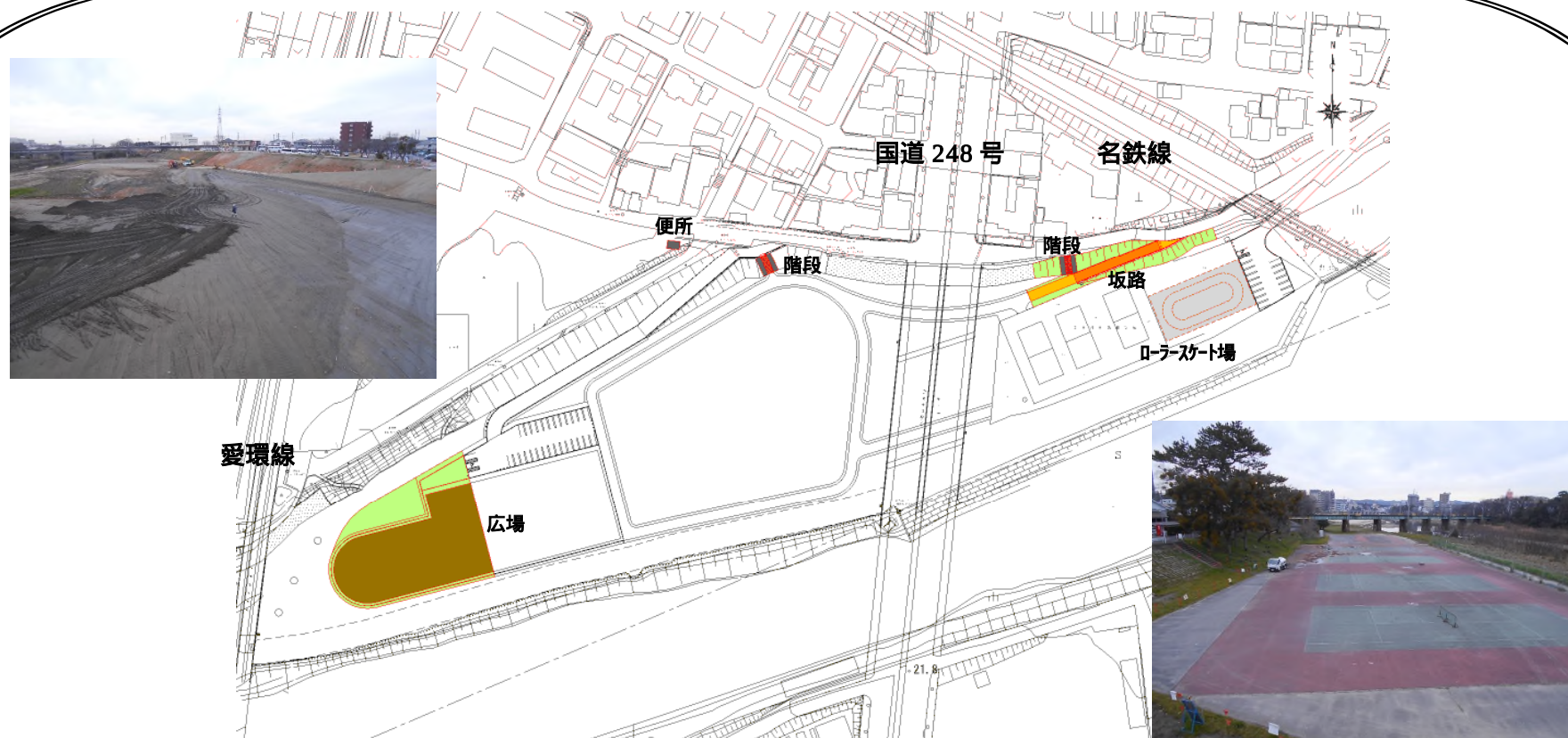
乙川の優れた景観と魅力的な水辺を活かした都市空間を創出し、まちとの繋がりを図るため、殿橋テラス、中央緑道と市道籠田町線の整備を進めます。

乙川河川緑地整備業務(予算額 254,690千円)

都市整備部公園緑地課
技術係(23 - 6181)

財源内訳 県支出金 3,120千円、市債 52,000千円、一般財源 199,570千円

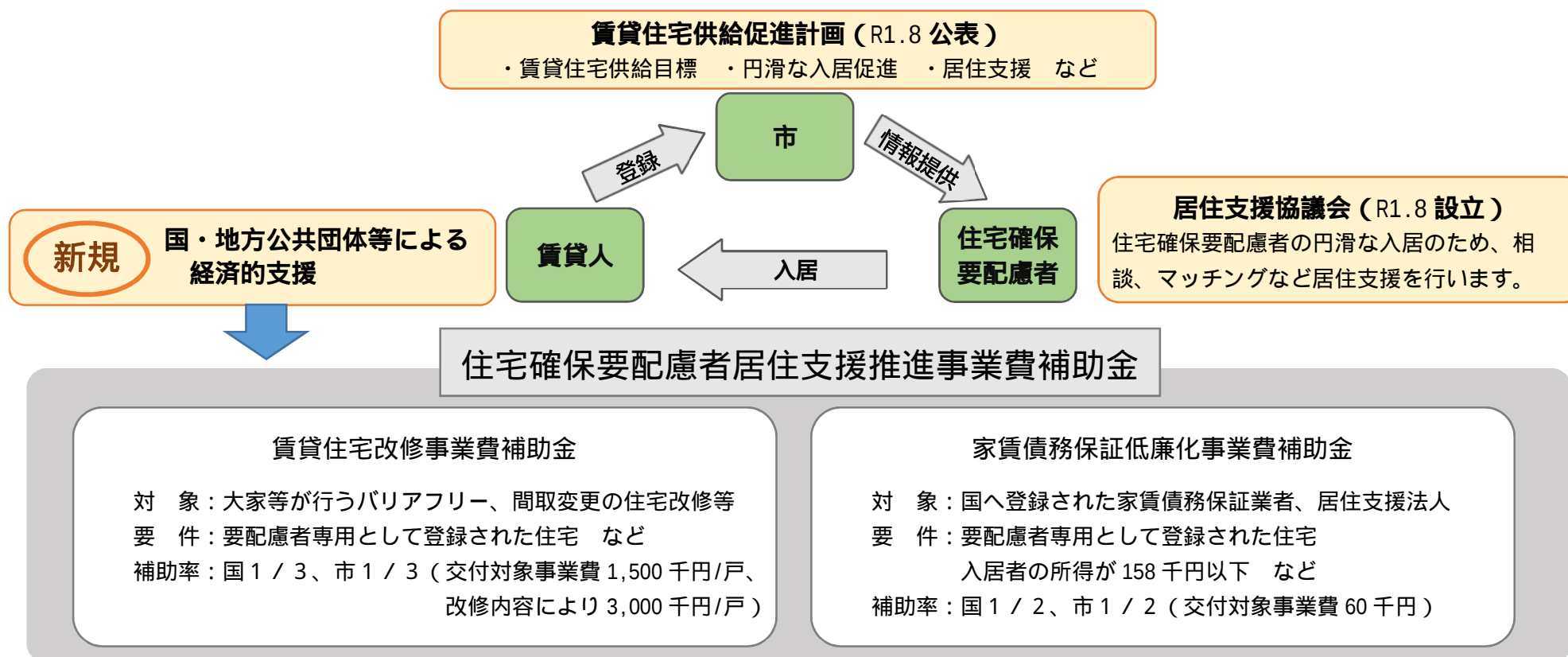
支出内訳 8款6項2目 公園費 / 測量設計委託料 3,960千円、公園整備工事請負費 244,530千円、下水道工事負担金 6,200千円



乙川の名鉄線路下流の右岸において、階段・坂路等の整備を引き続き行うほか、便所
新設に向けた実施設計等を行い、整備を進めます。

拡充	住宅施策推進業務 〔予算額 5,483千円〕	建築部住宅課 居住支援係(23 - 7269)
財源内訳	国庫支出金 2,650千円、一般財源 2,833千円	
支出内訳	8款8項1目 住宅総務費 / 特別旅費 21千円、食糧費 5千円、印刷製本費 124千円、職員研修負担金 33千円、 住宅確保要配慮者居住支援推進事業費補助金 5,300千円	

住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律及び賃貸住宅供給促進計画に基づき、賃貸住宅の登録、公民連携した居住支援協議会による居住支援、経済的支援を行うほか、様々な地域主体との連携により住宅セーフティネット制度を推進し、高齢者、子育て世帯、障がい者、外国人など住宅に困窮されているかたが円滑に賃貸住宅へ入居することにより居住の安定を図ります。



平地荘整備業務 〔予算額 182,758千円〕		建築部住宅課 技術係(23 - 6879)
財源内訳	国庫支出金 53,917千円、市債 50,000千円、一般財源 78,841千円	
支出内訳	8款8項3目 住宅建設費 / 食糧費 27千円、会場使用料 27千円、市営住宅新築工事請負費 15,429千円、市営住宅解体工事請負費 135,300千円、建物等移転補償金 30,250千円、ガスパ移設補償金 1,725千円	

【事業概要】平地荘（昭和 46～47 年建設）は、老朽化しているため建替えを行い、住宅に困窮する低額所得者へ低廉な家賃で良好な居住環境の提供を行います。

【整備スケジュール】

令和 5 年 3 月完成予定

平地荘完成予想図(イメージ)

平成 28 年度 基本設計業務

平成 29 年度 実施設計業務

平成 30 年度～令和元年度

第 1 期建設工事

令和元年度 実施設計業務

令和 2 年度～令和 3 年度

第 2 期建設工事

令和 4 年度 第 3 期建設工事



* 実施設計 : 住棟 2 棟設計 実施設計 : 住棟 3 棟・集会所設計
第 1 期建設 : 住棟 2 棟建設 第 2 期建設 : 住棟 3 棟建設 第 3 期建設 : 集会所建設

市営住宅建替業務〔予算額 2,842,515千円〕		建築部住宅課 技術係(23-6879)
財源内訳	国庫支出金 806,525千円、市債 1,689,000千円、一般財源 346,990千円	
支出内訳	8款8項3目 住宅建設費／食糧費 54千円、基本設計委託料 44,275千円、会場使用料 80千円、市営住宅新築工事請負費 2,777,781千円、水道分担金 9,176千円、電線引替負担金 221千円、建物等移転補償金 3,170千円、電柱移設補償金 7,758千円	

ひばり荘、陣場荘、大池荘、大平荘は近い将来建替えが必要となりますが、狭小敷地であるので、建替えを行うと従前戸数の確保が困難となります。そこで、非現地で建替え、集約を行うことで従前戸数を確保するとともに入居者の負担軽減や管理効率の向上を図ります。

また、大樹寺荘（昭和 48～49 年建設）についても、老朽化が進行しているため建替えを行います。

（仮称）市営五本松住宅

【整備スケジュール】

平成 29 年度 基本設計業務

平成 30 年度 実施設計業務

令和元年度～令和 2 年度

建設工事

完成予想図

令和 3 年 3 月完成予定



市営大樹寺荘

【整備スケジュール】

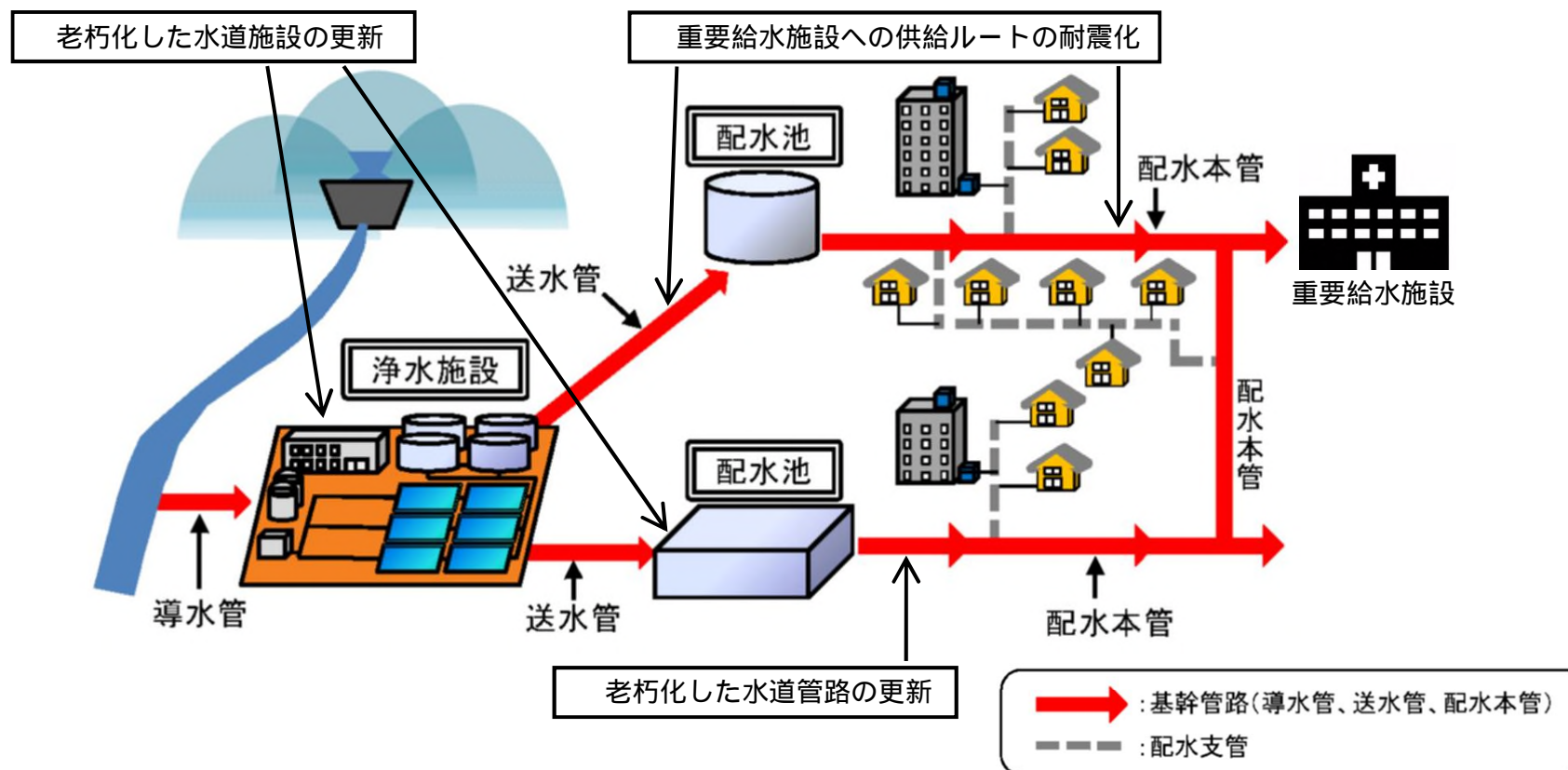
令和 2 年度 基本設計業務

令和 3 年度 実施設計業務

令和 4 年度～ 建設工事

【水道事業】 水道施設更新事業(予算額 343,522千円)		上下水道局総務課 財務1係(23 - 6353)
財源内訳	企業債 63,165 千円、他会計出資金 2,152 千円、県補助金 12,760 千円、自己財源 265,445 千円	
支出内訳	水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 原水及び浄水施設費 / 委託料 53,460千円、負担金 6,171千円、施設工事費 283,891千円	
水道管路更新・耐震化事業(予算額 3,330,500千円)		
財源内訳	企業債 846,835千円、他会計出資金 295,824千円、工事負担金 274,723千円、他会計負担金 39,600千円、県補助金 6,800千円、自己財源 1,866,718千円	
支出内訳	水道事業会計(資本的支出) 1款1項2目 配水施設費 / 委託料 193,650千円、補償金 17,000千円、施設工事費 3,118,450千円、その他 1,400千円	

- 水道普及率はほぼ 100% となり、市民生活や社会経済活動に不可欠の重要なライフラインとなっています。そのため、地震、台風等の自然災害、水質事故等の非常事態においても、基幹的な水道施設の安全性の確保や重要施設等への給水の確保、さらに被災した場合でも速やかに復旧できる体制の確保等を推進していきます。



老朽化した水道施設及び設備を更新します。

主な事業内容

業務（53,460 千円）

- ・大西配水場管路耐震化実施設計業務
- ・水道施設台帳システムアプリケーション構築業務

工事（283,891 千円）

- ・仁木浄水場施設更新工事（電気設備・監視制御装置システム・ろ過池電動弁・原水サンプリングポンプ）
- ・真伝配水場ほか4施設テレメータ取替工事
- ・井沢浄水場配水ポンプ取替工事

水道施設の耐震診断を進めています。

【収益的支出】耐震診断委託料（35,200 千円）

水道施設台帳システムを構築し、アセットマネジメントの策定を推進します。

老朽化した水道管路の更新及び南海トラフ地震に備えた耐震化を行います。

主な事業内容

管路更新事業（878,000 千円）

老朽化し耐震性能が低い塩化ビニル管・ダクトイル
鋳鉄管を耐震管への更新

管路耐震化事業（952,200 千円）

- ・地震災害に備え、救急病院や広域避難場所など、
重要給水施設への供給ルートの耐震化
- ・送水管及び導水管の管路耐震化

漏水多発対策事業（463,000 千円）

漏水箇所や漏水のおそれがある管路の布設替え

耐震管の鎖構造の性能イメージ



資料提供：日本ダクトイル鉄管協会

耐震管とは、地震時に起きる地盤のひずみを継手が伸縮・屈曲する鎖構造
管路により吸収し、管本体の損傷を防ぐものです。

【下水道事業】主な建設改良事業〔予算額 5,005,474千円〕 〔令和元年度3月補正に前倒した予算額 624,500千円〕（合計予算額 5,629,974千円）		上下水道局総務課 財務2係(23-6858)
財源内訳	企業債 2,801,100千円、工事負担金 52,600千円、受益者負担金 76,401千円、国県補助金 1,747,760千円、自己財源 327,613千円	
支出内訳	下水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 管渠施設費／委託料 296,140千円、手数料 440千円、補償金 226,200千円、施設工事費 3,560,800千円 1款1項2目 ポンプ場施設費／委託料 896,150千円、手数料 44千円、施設工事費 25,700千円	

- 下水道は公衆衛生の向上、浸水の防除、公共用水域の水質向上に寄与するなど、市民生活に不可欠なライフラインとなっています。そのため、未普及地区での污水整備を確実に進めるとともに、集中豪雨等による浸水被害の軽減、地震等の自然災害や施設の老朽化等による非常事態時における基幹的な施設の機能確保等に向けた整備を推進していきます。

①未普及地区における污水整備を進めます。(992,140千円)

◆主な事業内容

◎下水道管渠築造工事（826,800千円）

細川町、中村町、国正町、檜山町などの未普及地区（約 19 ha）を実施

②浸水被害の軽減を目指し下水道管渠及びポンプ施設の整備を進めます。

(1,512,344千円)

◆主な事業内容

◎六名雨水ポンプ場放流渠築造工事（693,000千円）

φ2,600mm、L≒600m ・ 場外水路 【H29～R3年度】

◎若松南幹線築造工事（230,200千円）

φ1,650mm、L≒220m

◎六名雨水ポンプ場築造工事〈建設・機械〉（282,700千円）【H29～R4年度】

排水能力 $Q=8.0 \text{ m}^3/\text{s}$

六名雨水ポンプ場完成図



R1 補正予算対応 (594,500千円)
・ 若松南幹線築造工事 ほか

地震に強い下水道施設を目指し下水道管渠及びポンプ施設の耐震化を図ります。(218,500 千円)

主な事業内容

地震時に地表面から浮き上がるおそれのあるマンホールの浮上防止工事 (14,000 千円)

N = 20 基

重要な幹線等における管渠の改築による耐震化工事 (84,000 千円)

L = 470m

老朽化した下水道管渠及びポンプ施設の長寿命化を図ります。(2,282,490 千円)

特に老朽管渠の改築工事を下水道事業の最優先課題として位置付け、計画的かつ継続的に取り組んでまいります。

主な事業内容

管渠更生工による老朽管渠の改築工事 (1,412,000 千円)

L = 9,200m

吹矢汚水中継ポンプ場改築工事 (326,550 千円)【R1～R2 年度】

R1 補正予算対応 (30,000 千円)
・早川雨水ポンプ場改築工事

